

学校だより 第11号



平成30年11月20日 津市立榊原小学校 <http://ednet.res-edu.ed.jp/s-sakakibara/>

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日（火）に小学校6年生13人を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。本年度は、国語A、国語B、算数A、算数B、理科、児童質問紙、学校質問紙の調査がありました。A問題は基礎的な「知識」を問う内容であり、B問題は学んだ知識を「活用」する力が問われています。この結果を分析し、今後の授業改善等につなげたいと思います。

保護者のみなさまには、お子様の得意なことを認めながら、今後の学習や生活の励みとなるような声かけをお願いします。6年生の児童には、すでに個人票が返却されています。返却時には、個人票の見方を担任から説明し、得意なこと・不得意なことを確認しました。以下に、本年度の榊原小学校の結果と分析内容をお知らせします。



【平均正答率】

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
榊原小学校	全国より 下回る	全国より 下回る	全国より 下回る	全国と ほぼ同じ	全国より 下回る
三重県	70.0	54.0	63.0	50.0	59.0
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

【中央値】 平均正答率は、データ数が30以上の時に効果的な分析ができるのに対して、榊原小学校のような小規模校では、「中央値」という値を使う方が適しているため、その方法でも分析しています。

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
榊原小学校	全国と同じ	全国と同じ	全国より 下回る	全国と同じ	全国より やや下回る
三重県	9.0	4.0	9.0	5.0	10.0
全国	9.0	5.0	9.0	5.0	10.0

（国語について）

領域別・観点別では、国語ABともに「読むこと、読む能力」は比較的によいが、国語Aで「話す・聞くこと、話す・聞く能力」、国語Bで「書くこと、書く能力」に課題がみられます。

具体的には、「文の中における主語と述語との関係などに注意して文を正しく書く」「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く」問題の正答率が低かったです。読書が好きで、読書量が多いのに、言葉の習得があまりできていない結果も出ています。

漢字については、家庭学習や自主学習で繰り返し練習をしていく必要があると考えます。

(算数について)

領域別では、算数Aで「図形」は比較的によいが、「数量関係」に課題がみられ、算数Bで「数と計算」は比較的によいが、「図形」に課題がみられます。観点別には、算数Aで「数量や図形についての知識・理解」が特に全国平均より低いので、今後の課題であります。

具体的には、算数Aで「答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ」の正答率がかなり低かったです。今後は、基礎学力の定着をはかるとともに、家庭学習でしっかり復習させ、学習に向かう姿勢と意識づけを日頃からさせていくことが大事であると考えます。

(理科について)

区分別では「物質」は比較的によいが、A区分「エネルギー」、B区分「地球」に課題がみられます。観点別では、「観察・実験の技能」で全国平均より20ポイント以上よいが、「自然事象についての知識・理解」が特に全国平均より低いので、今後の課題であります。

具体的には、「一度に流す水の量と棒の様子との関係から大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、理由を書く」問題の正答率が低かったです。

【児童質問紙からみられる生活・学習状況と今後の取り組みについて】

(本校の強み)

「朝食を毎日食べていますか」と「家で学校の宿題をしていますか」の質問には全員(100%)がしているとの回答をしています。また地域や社会への関心等の割合や将来の夢や目標を持っている割合、人の役に立つ人間になりたいと思う割合は、全国や三重県の基準に比べてかなり高い結果が出ています。

(本校の弱み)

「ノートの取り方」について、わかりやすいノートを意識していないという課題がみられます。特に算数のノートで、途中の過程などの解き方がよくわかるようなノートの書き方を指導していく必要があると感じます。また国語Bで調査問題の解答時間が十分でなかったという児童が半数ほどいる結果が出ているので、問題文(長文)を速く正確に読み取る力をつける取り組みも必要であると考えます。

今後は、どの教科においても、「自分の考えをまとめる」「わかりやすく伝えたり話したりする」活動を各学年の発達段階に応じて意識的に取り入れていきます。また日頃から学習していることを、日常生活の中で生かしていく場面や働きかけが必要であると感じます。また基礎基本の力をつけていくには、低学年から取り組みが必要であり、ベースとなる学習規律の徹底と学習に対する意識づけをしていきます。そして特に『家庭学習』についての重要性を考えていますので、子どもたちが主体的に家庭学習に取り組めるように、各家庭でもご協力をお願いしたいと思います。

現在5年生の児童(8人)については、来年度の全国学力・学習状況調査は、平成31年4月18日(木)に行われます。国語、算数、児童質問紙の調査です。

また、平成31年1月30日(水)には、第2回みえスタディ・チェック(国語と算数)のテストが現在の5年生を対象に行われます。